



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.hoyukai.org/>

第179号

発行:2021年3月15日

発行責任者:

特定医療法人社団 鵬友会



## ニーズに応え迅速な体制・整備に職員と共に歩む

介護老人保健施設 阿久和鳳荘 看護師長 吉田 文子

新年度を迎えるに当たりコロナ禍の中、関連施設の皆様に於かれましては、これまでに経験のない緊張感に包まれた業務環境の中での実務は大変厳しいものであると認識しています。当施設でも緊急事態宣言発令により面会、外出が禁止となり職員だけでなく利用者のストレスをも感じながら「笑顔の見られる職場作り」に力を入れ、この時期、施設内で楽しんで頂けるように自分達（職員）で出来る行事内容に工夫を凝らしながら行っています。面会に関してもテレビ電話を活用し、利用者の笑顔とご家族の安心にも繋がる対応と体調面や日常の様子など伝えるようにしています。

感染防止対策としては職員が笑顔のある対応を行い、利用者と一緒に笑いコロナ禍を乗り切るために私たち職員が「基本に立ち正しく実践する」マスクの着用、手洗い、手指消毒、ソーシャルディスタンスを保ち3密の回避に努め、意識した行動、実践に努力しております。冬場に多く発生する感染症の罹患患者も無く、予防対策ができました。

さて、厚生労働省から2021年度介護報酬改定が示されました。本改定では、新型コロナウイルス感染症や近年の大規模災害の頻発を踏まえて、「感染症や災害への対応力強化」を掲げるとともに、団塊の世代の全てが75歳以上となる2025年やその後の2040年を見据えて「地域包括ケアシステムの推進」「自立支援・重度化防止の取り組みの推進」「介護人材の確保・介護現場の革新」「制度の安定性・持続可能性の確保」を図る内容となっています。改定率は0.7%とプラス改定となりましたが、そのうち0.05%は新型コロナウイルス感染症対策での特例措置のため、実質的な改定率はプラス0.65%という結果と

なりました。（この特例措置は9月までの限定措置となる。）

この1年、鳳荘の運営状況を振り返ると実績が示す厳しい結果となりました。現実を受け止め、施設改革として介護報酬内容熟読、勉強会を多職種と行い学びを共有、新規に取り組む内容やどの職種が具体的に何を行うのかの介護報酬収益シミュレーション等、更なる老健施設が果たす役割は何か多職種と考える機会をつくりました。今回新たに医師との協働も加わり全職種一緒に連携を保ち、疾病の予防を図りながら算定に取り組んでいきます。

介護報酬改定では「在宅復帰」「在宅生活支援」が大きなキーワードとなり施設のみのケアで終わらず在宅サービスとの連携を図り、地域におけるリハビリ拠点としての老健施設がより一層求められています。今後、老健施設の役割を發揮するためには、地域に存在する医療・介護・福祉の社会資源を把握し、人的なネットワークの構築や入退所等に係るシステムづくりが重要と考えます。当施設で在宅復帰支援をより利用者、ご家族の意思を尊重し、支援サポート体制として円滑にする為のモデルの作成導入も考えます。

老健施設は地域に根ざしたチームケアを行う多職種協働施設であり、必要な場合は病院での治療も行いながら、老健施設の本質を忘れず質の高いケアを提供していきたいと思っております。関連施設の皆さまと更なる連携、情報共有を図り、施設として明確な目標を掲げ多職種と協力体制で利用者、職員双方の安全を確保しながら、効果的により良い成果を生むためにも日々新たな介護・看護体制づくりに職員一同奮闘して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

# 医療法人社団 鵬友会 介護老人保健施設 阿久和鳳荘 通所リハビリテーション（デイケア）

楽しいリハビリで  
もっと「動ける！」  
もっと「できる！」  
を増やしませんか？



## 通所リハビリテーションとは

加齢や病気などにより低下した心身の機能を、リハビリテーション・体操・手作業・レクリエーション等を通じて維持・向上させていくことを目的にしつつ、食事や入浴・季節の行事等の提供により、在宅生活を続ける支援をさせていただく日帰りの介護サービスです。

## リハビリ

日常生活に必要な機能を維持・改善するための訓練や相談を行います。また、必要に応じて自宅へ訪問し、自宅の環境調整を行います。

## レクリエーション

楽しい雰囲気の中で体操や脳トレーニングをしています。



担当:南波(なんば)まで TEL:045-812-8881

まずは、週1回からの利用を始めてみませんか？